

地理学野外実習1ーⅢ

科目ナンバリング GGR-409
選択必修 2単位

吉野 裕

1. 授業の概要(ねらい)

卒論を作成する際に、みなさんは研究対象地域(「現地」)に行き、自身で研究に必要なデータや資料を収集することになります。しかし、みなさんの中に「現地調査の経験者」はほとんどおられないと思います。この授業は、そのようなみなさんが、現地調査に関する知識・技術を磨くため(つまり、卒論をスムーズに作成するため)のものです。実際に、学生と教員で現地調査を行い、卒論の作成に必要な知識と技術(観察調査・聞き取り調査・資料収集の方法など)を身につけていきます。春期は、資料収集・観察調査などの作業をおもに行い、「現地」がどのような「個性」をもつ地域であるのか(研究対象地域の概要)を明らかにしていきます。

2. 授業の到達目標

- ・現地調査の基本的な方法を理解できる。
- ・現地調査を通して、論文や報告書の作成に必要な資料を自身で収集できる。
- ・現地調査の成果をレポートとしてまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート(50%)・発表(30%)・受講態度(20%)をもとに、成績を総合的に評価します。

※受講態度:学内・現地における調査・作業にのぞむ態度のことを意味します。

4. 教科書・参考文献

教科書

野間晴雄・香川貴志・土平 博・河角龍典・小原文明編著 『ジオ・パルNEO 地理学・地域調査便利帳』 青海社

参考文献

特に指定しません。

5. 準備学修の内容

授業と現地調査の前に、書籍・地図・インターネットなどで調査先について積極的に調べてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・現地調査の費用は、履修者の個人負担となります。事前に費用を準備してください。
- ・現地調査の詳細(日程や費用など)については、第1回目(ガイダンス)でお知らせします。ガイダンスの日時については、史学科の掲示板・地理学実習室のドアに掲示しますので、ご注意ください。
- ・現時点で他県での2泊3日の現地調査を計画していますが、諸般の事情により、調査先・日程を変更する場合があります。
- ・この科目ではグループ活動(研究・調査)が中心になります。「優れた研究成果」は「良い人間関係」から生まれます。他の学生や現地の方々と一緒に積極的にコミュニケーションをとってください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、受講上の諸注意
- 【第2回】 現地調査の準備①調査の日程を組んでみよう
- 【第3回】 現地調査の準備②調査の費用を確認しよう
- 【第4回】 現地調査の準備③参考文献を収集しよう
- 【第5回】 現地調査の準備④統計資料を分析しよう
- 【第6回】 現地調査の準備⑤調査項目を決定しよう、フィールドノートをつくろう
- 【第7回】 現地調査をしよう①観察調査
- 【第8回】 現地調査をしよう②土地利用調査
- 【第9回】 現地調査をしよう③地域の歴史・文化にふれる(資料館見学など)
- 【第10回】 調査結果をまとめよう①フィールドノートをまとめる、写真・資料の整理
- 【第11回】 調査結果をまとめよう②入手したデータを分析する
- 【第12回】 調査結果をまとめよう③データの地図化・グラフ化
- 【第13回】 調査成果を発表しよう①グループ1～3
- 【第14回】 調査成果を発表しよう②グループ4～5
- 【第15回】 総括